

令和 5 年度事業計画

令和 5 年 3 月

一般財団法人四国産業・技術振興センター

目 次

令和5年度事業方針	1
Ⅰ 新技術・新製品開発の支援	2
1. 補助金等を活用した支援	2
2. プラットフォームを活用した支援	2
Ⅱ 販路・用途開拓の支援	3
1. 補助金等を活用した支援	3
2. 機能性食品マッチングサイトによる販路拡大支援	3
Ⅲ その他の事業	4
1. セミナー・講習会等	4
2. イノベーション四国顕彰事業	4
3. 次世代層向け科学技術イベント等	4
4. 賛助会員との交流促進	4
5. 情報発信	4

令和 5 年度事業方針

令和 4 年度は新型コロナウイルスを前提とした経済活動が徐々に定着し、それに伴い当センターが得意とする現場に出向く活動もフル活用しつつ、以下の 2 項目に重点的に取り組んだ。

- ① 四国の特性を活かし、四国の将来を担う成長産業（高機能素材、機能性食品）の支援
- ② 有望な独自技術を持つ企業の、新技術・新製品開発や販路開拓の支援

令和 5 年度は、引き続き成長産業として期待される高機能素材・機能性食品について支援を継続する。

また、これまで当センターが主に取り組んできた「ものづくり」の分野に加えて、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」や「カーボンニュートラル」などの新たな分野にも範囲を広げ、国や J K A 等の補助施策も活用しながら以下の 2 項目を企業支援として取り組む。

- ① 様々なアイデアやシーズを持つ企業の新技術・新製品開発の支援
- ② 四国の特性を活かした商品や有望な独自技術の販路・用途開拓の支援

実施にあたっては、ウィズコロナ・アフターコロナにおいて地域産業が一層活性化するように、現場に出向く活動を軸に、支援企業と二人三脚で取り組む伴走型支援を充実して、各支援事業を推進する。

また、四国地域イノベーション創出協議会（注 1：以下「イノベーション四国」）の会員機関やイノベーションコーディネーター（IC）と連携し、地域の企業をワンストップで幅広く支援するとともに事務局として関係機関の活動の活性化を図る。

（注 1）平成 20 年度に設立した、企業が抱える課題の解決を四国の総合力で支援する組織。四国内の研究機関、産業支援機関、金融機関など計 48 の会員機関が保有する人材、ネットワーク、機器や研究成果等の資源を総合的に活用し企業支援を行っており、当センターが事務局、産業技術総合研究所四国センター（以下「産総研」）と中小企業基盤整備機構四国本部（以下「中小機構」）が副事務局を務めている。

I. 新技術・新製品開発の支援

1. 補助金等を活用した支援

国の補助金や STEP 独自の支援策を活用し、様々なアイデアやシーズを持つ企業各社の新技術・新製品の開発を支援する。

(1) 国の補助金等を活用した支援（技術・製品開発支援事業）

技術・製品開発を行っている各社の要望に応じて外部資金獲得を支援していく。

- ・ 企業の外部資金獲得に当たっての応募申請書のブラッシュアップ
- ・ 経済産業省「成長型中小企業等研究開発支援事業（GoTech）」などの事業管理機関としての進捗管理等

など

(2) STEP 独自の支援（技術・製品開発支援事業）

公的機関の支援事業よりも自由度の大きいSTEP独自の開発支援事業を継続して実施する。

- ・ 大学・高専・公設試等の研究機関と企業が行う共同研究費用の一部助成
- ・ 企業が単独または共同で行う、事業化の可能性の高い研究調査事業の実施

など

2. プラットフォームを活用した支援

専門家派遣による技術相談などこれまで支援を強化してきた分野を中心に継続実施する。

(1) CNFを活用した新事業の創出支援（産業振興事業）

「四国CNFプラットフォーム」のCNF実用化に向けた取組みを継続して実施する。

利活用の芽が出始めたCNF用途開拓をさらに進め、四国のCNF利活用企業の新たな製品開発を伴走型で支援し、事業化事例を増やし、社会実装の定着化を目指す。

(2) ヘルシー・フォー等の機能性食品の普及と創出支援（産業振興事業）

四国産の機能性食品に対する認証制度である「四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）」の普及広報及び認証申請支援を継続する。

(3) イノベーション四国を通じた支援（産業振興事業）

四国内の研究機関、産業支援機関、金融機関などの会員機関やＩＣと連携しながら技術開発・販路開拓の支援を行っていく。

また、同協議会事務局として、各県にて支援機関・ＩＣ連絡会を開催するなど、イノベーション四国の活動活性化を図っていく。

Ⅱ．販路・用途開拓の支援

1．補助金等を活用した支援（企業間マッチング支援事業）

四国の特性を活かした商品や有望な独自技術の販路・用途開拓の支援を実施する。

質の高い技術や新商品を有する四国の企業を選出し、Web マーケティングを併用したビジネスマッチングを実施する。

- ・ 大企業経営層ＯＢなどで構成される専門機関を通じた個別マッチング
- ・ 展示会を通じたマッチング

など

2．機能性食品マッチングサイトによる販路拡大支援（企業間マッチング支援事業）

機能性食品を含む付加価値のある食品素材・商品の創出を促し、その販路開拓を支援するため、STEPのマッチングサイト「四国発！ヘルシー食品&素材マッチングウェブ（ヘルシー四国）」の活用などにより、効果的に支援を行う。

- ・ インターネットを通じた企業間取引（BtoB）に意欲のある企業の発掘とマッチングサイトを利用した販路開拓・商品開発支援
- ・ マッチングサイト登録企業を対象に販路拡大・商品開発を目的とした展示会出展支援
- ・ 動画等のデジタル技術活用による訴求力のある企業、商品紹介などの新たな取り組みに対する支援

など

Ⅲ. その他の事業

1. セミナー・講習会等（技術開発・産業振興事業）

企業の技術開発等の課題解決に向けた取り組みを支援するために、四国経済産業局やイノベーション四国の各支援機関と連携して、IoT・AI関連やDXなど新技術セミナーや講演会等を開催する。（後援等を含む）

2. イノベーション四国顕彰事業（産業振興事業）

四国経済産業局および産総研と共同で、「四国産業技術大賞」の顕彰事業を運営し、四国の活性化に貢献する企業の表彰を行う。表彰に当たっては、各賞受賞企業の技術・製品や事業のPRに努め、販路開拓支援にもつなげていくとともに、全国大の顕彰事業への応募のバックアップを行う。

3. 次世代層向け科学技術イベント等（産業振興事業）

香川県内の児童生徒の科学や技術に対する関心を高め、様々な実地体験を通して人間としての成長を図ることを目的とした「かがわけん科学体験フェスティバル」を平成5年より香川大学と共催して、同フェスティバルを支援する。

また、「四国地区高校生溶接技術競技会」に協賛、「ロボットアイデア甲子園四国大会」に後援し、高校生の科学技術の支援を実施する。

4. 賛助会員との交流促進（産業振興事業）

当センター賛助会員への訪問を通じ、賛助会員企業の課題や当センター事業への要望などを意見交換し、支援策を提案するなど賛助会員サービスの促進を図る。

また、出会い・マッチングの場を提供し、会員の相互理解を深める場として「賛助会員交流会」を再開する。

5. 情報発信（産業振興事業）

情報誌やホームページ、メールマガジン等を活用し、当センターおよびイノベーション四国の認知度・理解度向上につながる効果的な広報・情報提供を行っていく。

以 上